

東京藝術大学 × 秋田ステーションビル 共同開催
つくる・みせる・あそぶ「あきた まちのえき 夏」の出店者決定&今月オープン！
遊ばなくなったおもちゃを交換する「かえっこ」や工作コーナーが充実

秋田駅直結の秋田駅ビル「アルス」の地下1階（運営：秋田ステーションビル株式会社）に、小学校の夏休み期間に合わせて「あきた まちのえき 夏」がオープンします。

工作スペース「かえるラボ／出張ソウゾウカンラボ」や遊ばなくなったおもちゃを交換するプロジェクト「かえっこ」など、親子で様々な創造力を育み、楽しむことができる場が数多く展開。もちろん空いたスペースで休憩も可能です。

今年1月17日～2月16日に開催し、好評を博した「あきた まちのえき」。今回は出店ブースを事前に公募し、県内のアーティストや職人、料理人、学生、起業家等、会期前後半合わせて27組が参加します。また今回の新しい取り組みとして、小さな箱型ブース「ヒトハコ」が登場！県内外から26組が出店します。秋田の豊かな文化資源と現代芸術のもつエネルギーを存分に楽しむこの試みを、ぜひ一緒に盛り上げましょう。



「あきた まちのえき 夏」は、東京藝術大学と東日本旅客鉄道株式会社（以下「JR 東日本」）による共創事業。東京藝術大学と JR 東日本は、包括連携協定に基づき、「アート」を軸とした新しいサービス、価値の提供を目指し、ともに取り組んでいます。本企画では東京藝術大学が培ってきた多様な芸術の在り方を、JR 東日本グループのネットワークを活用して地方へと届け、芸術の力で新たな活気をもたらす地方創生を目指します。

ひとりでも多くの方にご参加・ご来場いただけますよう、広報・報道機関の皆様にはぜひご周知・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

事前内覧会・セレモニーについて（報道関係者、出店者対象 / 要事前申込）

日時 | 2025 年 7 月 18 日（金） 11:30-12:00

場所 | 秋田駅ビル アルス地下1階（秋田市中通7-2-1）

内容 | 関係者挨拶、企画趣旨説明等



最新情報は
公式 Instagram から
@machieki.akita

広報・お問合せ先：NPO 法人アーツセンターあきた（担当：芦立・小野地）

〔TEL〕 018-893-5656（秋田市文化創造館内）〔E-mail〕 ashidate@artscenter-akita.jp

〔WEB〕 www.artscenter-akita.jp

つくる・みせる・あそぶ「あきた まちのえき 夏」

- (1) 日時 | 2025 年 7 月 19 日 (土) ~ 8 月 24 日 (日) 10:00~18:00 * 火曜定休 / 8 月 5 日は開場
前半: 7 月 19 日 (土) ~ 8 月 6 日 (水) [17 日間] 後半: 8 月 9 日 (土) ~ 24 日 (日) [14 日間]
(8 月 7 日、8 日も開場し、一部エリアで展示設営等を公開で行います。一般来場者の入場可能)
- (2) 場所 | 秋田駅ビル アルス地下 1 階 (秋田市中通 7-2-1)
入場無料、一部プログラムの参加等に料金が発生する場合があります
- (3) 主催 | 東京藝術大学
- (4) 共催 | 秋田ステーションビル株式会社
- (5) 運営 | trunk、NPO 法人アーツセンターあきた
- (6) 協賛 | 秋田プライウッド株式会社
- (7) 協力 | 東日本旅客鉄道株式会社
- (8) 後援 | 秋田県、秋田市、秋田公立美術大学、秋田魁新報社、ABS 秋田放送、AKT 秋田テレビ、AAB 秋田朝日放送、朝日新聞秋田総局、読売新聞秋田支局、毎日新聞秋田支局、秋田経済新聞、CNA 秋田ケーブルテレビ



開催イメージ：前回の「あきた まちのえき」開催風景（左：秋田公立美術大学の学生による作品制作 右：出店ブース）

企画に寄せて

街のなかに、どんな場所があったら素敵だと思いますか？

意外に感じられるかもしれませんが、私たち東京藝術大学をはじめ、芸術文化に携わる人々の中には、街の中にある「居場所」や「場」のあり方について真剣に考え、かたちにしようとしている人たちが増えています。

2025 年 1 月から 2 月にかけて開催された第 1 回「あきた まちのえき」は、そんな想いをもとに、秋田駅前にふらりと立ち寄れる場所をつくろうという試みでした。

秋田で普段から活動されている様々な出店者の皆さまのご協力のもと、ものを買ったり、食べたりすることはもちろん、人と人とが出会い、言葉を交わし、あるいはゆっくり過ごせるような「まちの中のえき」として、多くの方にお立ち寄りいただきました。

そしてこのたび、今年 7 月から 8 月にかけて、再び秋田駅前にて「あきた まちのえき 夏」を開催できる運びとなりましたことを、ここに嬉しくご報告いたします。

秋田は折しも、竿燈まつりをはじめとする夏の魅力に満ちた季節。どこかに出かけたくなる夏休みでもあります。秋田に暮らす方々にも、旅で訪れる方々にも、「あきた まちのえき」がそれぞれの「自分の場所」として感じられるような場となれば、こんなに嬉しいことはありません。

どうぞ、お楽しみに。



出店者一覧（順不同）

都合により参加が中止になる場合があります。また、出店日時は各参加者により異なります。詳しくはお問合せください。

	名前（出店名）	ジャンル	参加会期	概要
1	yuragi（ゆらぎ）	物品販売、ワークショップ	全期間	海に漂着する海洋プラスチックを使ったアクセサリーの販売。新たな価値観で環境問題を楽しく身近に。
2	SHIRUFO	グッズ販売	全期間	様々な社会問題について楽しく身近に考え続けるためのステッカーの販売。
3	PARK-いきるとつくるのにわ	活動紹介展示、イベント	全期間	活動紹介展示。企画を考えるためのワークスペースや植物栽培コーナーも！
4	Bon Cadeau（株式会社イシカワ）	物品販売、ワークショップ	全期間	文房具、ハンドメイド、オリジナルグッズの販売。ワークショップも開催予定。
5	アーツプラス現代芸術研究所	展示、体験	全期間	県立美術館と千秋美術館で開催する「ミネバネ！」展のタグチアートコレクションによる紹介ブース。
6	わーどおぶえりたまげーろ	展示販売	全期間	「げーろ」たちが織りなす、思わず笑顔になれるカラフルで癒しのデジタルアート販売。
7	iimon nippon	物品販売	全期間	ノンカフェインのブレンド茶や、お供にぴったりな豆菓子、クラフト雑貨の販売。
8	ORAE アキタファニチャー	展示販売	全期間	秋田の木材を使った手作りの木工製品の展示販売。会期中にワークショップやトークイベントも開催。
9	全自動さじなげ委員会	グッズ販売	全期間	秋田県内の廃墟や廃校を散策し冊子や写真集を制作している。今回は珍品もお披露目するかも？！
10	trunk	展示販売	全期間	trunk（トランク）の活動を記録した ZINE と、自家栽培したヘチマのスポンジの販売。
11	ロボットシティ	ワークショップ、作品展示	前期	オリジナルロボットの展示と、パウルブロックの体験ブース。自由に作ってアイデアを形にしよう！
12	音楽教室むじか（Musica Ritmica）	リトミック、音楽あそび	前期	音楽にあわせて親子で楽しむ音楽遊び体験ブース。0歳から参加OK♪
13	スナックルーム巣	占い、展示、販売	後期	タロット占いと、オリジナルノンアルコールドリンクの販売。
14	(株)津田土木建設	遊技、アミューズメントゲーム	後期	自然を模したアーケードゲームの体験ブース。夢中になりすぎないようにご注意ください。
15	Atelier freux（アトリエフルー）	鉱物標本・アクセサリー	後期	鉱物標本やアクセサリーの販売。地球の不思議・美しさが詰まった鉱物の魅力をお届け。
16	crayon.popopo	カスタムクレヨン	後期	カラフルで可愛い、知育玩具としても大人気のカスタムクレヨンを販売。
17	VividWeather&童心屋	作品展示、物品販売	後期	針金を使った独自の技法によるアクセサリー販売。粘土等での立体造形作品も。

18	十文字和紙愛好会	作品展示、物品販売	後期	横手市で作られる手漉き和紙「十文字和紙」の作品を展示。紙の魅力を発信。
19	手づくり雑貨と文房具の店 1ccoo	物品販売	後期	ハンドメイドアクセサリ、雑貨、オリジナル文房具
20	民具ラボ出張所	作品展示	後期	収集家・油谷満夫さんの民具の紹介と保存・継承、活用に向けた研究活動の一部を展示。
21	NPO 法人アーツセンターあきた	作品展示、物品販売	後期	アートやまちづくり、社会連携事業の紹介や秋美 NFT コレクションの展示販売など。
22	おもしろど・かだればあ&秋田まちとケア協働舎	展示、無人図書館、福祉介護相談	後期	活動紹介ブース。介護相談や無人図書館、イベントも不定期で開催。
23	めにあおば	作品展示	後期	自作イラストの展示。テーマは「布団と私の同居生活」。
24	イラストショップちびすけ堂	イラストグッズの展示販売	後期	あたたかくて優しい、癒し系のオリジナルイラストグッズの販売。
キッチンスペース				
25	シェアキッチン「6 坪カフェ」	飲食販売	全期間	秋田市四ツ小屋で「やりたいことを、やりたいと思った時に」をテーマに、食を通じて夢と想いを後押しする場作りを実施。来る日によって彩り豊かな多ジャンルの異なる味と人と物語をお届け。
26	SCOOPS (すくーぶす)	アイス販売	全期間	秋田の野菜や果物を使ったアイスクリームサンドを販売。秋田でこんなアイス食べてみたい！アイデアも募集。
27	椅子と珈琲 雲の巣	飲食販売	全期間	秋田市土崎にある、倉庫をリノベーションした工房兼カフェ。スイーツやドリンク、グッズなどの販売を行う。

ヒトハコ

会場内インフォメーションコーナーに設置した箱型ブース。作品展示から雑貨などのハンドメイド品、手作り小冊子（ZINE）の販売、ハーブティーやチャイセットの販売など、様々な方が参加。濃密で个性的な個人商店やギャラリーを是非のぞいてみてください。

【出店者名（ジャンル）】

trunk（ZINE）、シルフォ（ZINE）、悪役令嬢と生存戦略（ZINE）、trunk chai（チャイキット）、ケルベロスセオリー（ZINE）、ハゼのトテ馬車（ZINE）、cammy（アクセサリ）、ハーブティーFlat（ハーブティー）、ハンドメイド FREED（がまぐちバッグ）、Metamorphose Princess（アクセサリ）、ときめきっず Labo（アクセサリ）、秋田 de 読書（ZINE）、happy&eco&smile（布小物）、Keroco（レースアクセサリ）、たいら箱店（アクセサリ）、モノヅクリ RAKU（アクセサリ）、株式会社 村上商店（作品展示）、mochirocco（編み物）、くらしのこもの（アクセサリ）、とらべる（アクセサリ）、日々の線の記録（小物作品）、小物屋かぬ（アクセサリ）、おみくじとてがみのおみせ ひがし堂（おみくじとてがみ）、幸呼こうこ（アクセサリ）、Miku Self Wedding（ZINE）、studio KURIKINTON（カードやステッカー）

▶今回の見どころ

①子どもたちが自ら手を動かし、創造力・想像力を育み発揮する場が登場！

1. こどもが主体となった活動「かえっこ」を定期的開催

開催日時：毎週金・土・日・祝 14:00-17:00 参加無料

「かえっこ」は世界共有の子ども通貨「かえるポイント」を使って子どもたちがいらなくなったおもちゃを交換するイベントです。国内のみならず、海外でも開催され、会場はこどもたちで大いに盛り上がります。かえっこの参加資格は「子ども」と「子どもの心を持った人」です。

*遊ばなくなったおもちゃをかえるポイントに交換したり、そのポイントでおもちゃを持って帰ったりすることができます。

*おもちゃを持っていなくても、掃除等に参加することでポイントをもらえます。



2. プラスチックのおもちゃを使用したオブジェやアクセサリーづくりができる工場

秋田市文化創造館で人気の工作コーナー「ソウゾウカンラボ」とかえっこ発案者の美術家、藤 浩志を中心とした「かえるラボ」がコラボレーションし、思いっきり工作できるコーナーに！！つくるために必要な素材やアイデア、道具が揃います。

素材：雑紙、布、空き箱、木片など

道具：ペン、のり、ボンド、クレヨン、テープ、ハサミ、カッター、ソーイングセット、編み物の道具など

*工作のための道具や素材は元の場所にお戻しください。ゴミはお持ち帰りください。

*お子さまが当スペースをご利用の際は、保護者の方が責任を持って見守ってくださいますようお願いいたします。



3. 布やぬいぐるみ等を活用したパペットづくり、その簡易シアターの登場

ラボでつくられたぬいぐるみの一部は会期後半に「旅のお供」として貸し出します。

貸出受付時間 | 10:00-15:00 / 最終返却 15:30 館外への貸出は土日祝のみ

「おともクラブ会員」に要事前登録／貸出料無料／貸出期間は当日限り

会期中、素材を随時募集！

会場が様々な作品制作のための素材集積所に。

募集素材：いらなくなったぬいぐるみ、子供服、おもちゃ、雑がみ等

「かえっこ」発案者：

藤 浩志（ふじ・ひろし） 美術家



1960年鹿児島県生まれ。京都市立芸術大学在学中演劇に没頭した後、公共空間での表現を模索。同大学院修了後パプアニューギニア国立芸術学校に勤務し原初表現と人類学とヤセ犬に出会う。バブル崩壊期の土地再開発業者・都市計画事務所勤務を経て土地と都市と人間の欲望を学ぶ。給料一ヶ月分のお米から始まる「お米のカエル物語」、不用品を活用した「101匹のヤセ犬」「Vinyl Plastics Connection」

「Kaekko」「Jurassic Plastic」等、全国各地で美術表現多数。十和田市現代美術館館長を経て秋田公立美術大学教授、NPO法人プラスアーツ副理事長、NPO法人アーツセンターあきた理事長。

<https://www.fujistudio.co>

②会場と駅周辺をつなぐ謎解きチャレンジが登場



「まちのえき 夏」をさらに楽しんでもらうために、オリジナルの「謎解き」が登場。会場となるアルス地下1階以外にも駅周辺のいくつかの会場に「謎」が散らばります。答えを解いて会場にお越しください! 謎解きの解答用紙は配布するチラシ裏面にあります。

謎解きチャレンジ制作：インドアゲームズ

③それぞれの個性豊かな世界を展開「ヒトハコ」の登場



小さな箱型ブース「ヒトハコ」が登場! 事前に公募し、県内外から26組が集まりました。

箱の内部をギャラリーに見立てた作品展示、雑貨や編み物、ZINEなどのオリジナル商品の販売やハーブティーの無料配布など。

会期中、インフォメーションコーナー（運営スタッフブース）でご覧いただけます。

企画・運営：trunk

④秋田公立美術大学の学生による有志展示に卒業生も加わり、さらにパワーアップ!



学部、大学院、卒業生含めて専攻を超えた有志20名が会場内各所の壁面や隙間を使って展示を行います。会期中に会場内で制作される作品や来場者と一緒に制作する学生もあり、少しずつ変化も楽しむことができます。

さらに、今回は東京藝術大学の西原珉研究室の学生も参加します。

参加学生：ごしゃ未知、鈴木歩千、ふじた光、丸藤祈琉、藤澤秀一朗、井上愛萌、佐藤ことみ、ブラネン新那サイデ、長谷部和哉、眞壁珠洲子、呂昭遠、鈴木麗、山崎さくら、翅綿、hiyumanity、新屋保護猫いやし処

「映像デザイン基礎演習」「メディアアート導入演習」成果作品（福岡 初、井上菜々実、岩田陽理、齋藤佑華）

マネジメント：柴田蒼朱、二本木千夏（秋田公立美術大学 学生）

▶管理・運営団体

trunk

2021 年から秋田を拠点にすべての人が生きやすい環境を目指して活動するコレクティブ。これまで、自主企画での展覧会やおはなし会、上映会やラジオ配信など、あらゆる方法で場作りを行ってきた。

メンバーはデザイナーや漫画家、美術作家、ファシリテーションやアートマネジメントを学んだ人たちで、それぞれの専門性を生かした活動を行う。

<https://sylvester-shifu.com/>



▶広報

NPO 法人アーツセンターあきた

秋田公立美術大学の社会連携を担う学外法人として設立。秋田公立美術大学の多彩な研究や教育活動、幅広いネットワークを活かし、アートやデザインの力でさまざまなプロジェクトに取り組む。2021 年から秋田市文化創造館の指定管理者を務める。



▶同時開催「SOZOW フェス Akita 2025 Summer」

親子で遊べるデジタルのお祭り

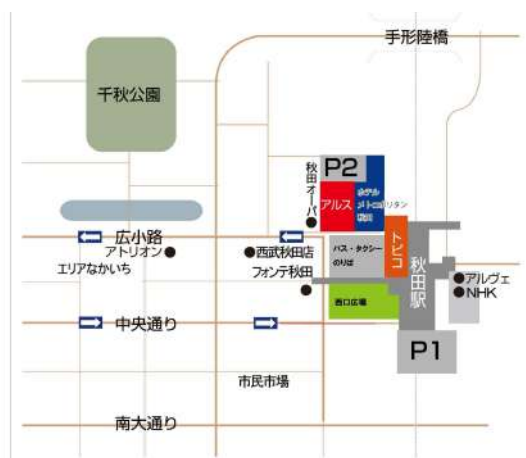
2025 年 7 月 19 日（土）～8 月 6 日（水）にアルス地下 1 階にて開催。子どもが主役となり、マイクラフトや AI、映像制作、ロボットなどの最新テクノロジーを使って、親子で楽しみながら学べるデジタル創造体験イベントです。未就学～小学生対象。

<https://sozow.com/fes/akita2025summer>



▶会場について

秋田駅直結の駅ビル商業施設「アルス」。
市民だけでなく観光客の往来も多くあります。



広報・お問合せ先：NPO 法人アーツセンターあきた（担当：芦立・小野地）

〔TEL〕 018-893-5656（秋田市文化創造館内） 〔E-mail〕 ashidate@artscenter-akita.jp

〔WEB〕 www.artscenter-akita.jp

2025 年 7 月吉日

報道関係者各位

NPO 法人アーツセンターあきた

「あきた まちのえき 夏」、7 月 18 日（金） オープニングセレモニーのご案内

拝啓

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご厚情を賜り、御礼申し上げます。

この度、東京藝術大学と秋田ステーションビル株式会社の共同開催により、人々が交わり・集う「あきた まちのえき 夏」が、秋田駅ビル アルス地下 1 階に夏休み期間に合わせて 7 月 19 日（土）～8 月 17 日（日）に期間限定でオープンします。アーティストや職人、料理人、学生、起業家、観光客などが往来・滞在・交流し、駅ビルの地下フロアに新しいまちを醸します。毎日変わるまちの様子にご注目ください。

つきましては、開催前日 7 月 18 日（金）にオープニングセレモニーを開催いたします。前期に同時開催する「SOZOW フェス Akita 2025 Summer」の紹介も合わせて行います。ご出席いただける場合は参加フォームにてお知らせください。ご参加、ご取材をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

敬具

「あきた まちのえき」オープニングセレモニー概要

日時 2025 年 7 月 18 日（金） 11:30-12:00

場所 秋田駅ビル アルス地下 1 階（秋田市中通 7-2-1）

11:00 受付開始

11:30 主催者から開会挨拶

- ・日比野克彦（東京藝術大学 学長／ビデオメッセージ）
- ・小助川 将（SOZOW 株式会社 代表取締役）
- ・中村隆志（秋田ステーションビル株式会社 取締役 SC 営業部長）

11:40 来賓ご挨拶 秋田副市長 鎌田 潔 様

11:45 企画趣旨説明、出展作家紹介

- ・西原 珉（東京藝術大学 准教授／秋田市文化創造館 館長）
- ・藤 浩志（秋田公立美術大学 教授／アーツセンターあきた 理事長／出展者）
- ・小助川 将（SOZOW 株式会社 代表取締役）

11:50 関係者記念撮影、閉会次第（12:00 頃予定）ギャラリーツアーへご案内します。

受付方法 アルス 1 階スターバックス前のエスカレーターから地下 1 階に降りていただき、正面受付でお名前をお知らせください。開始 30 分前（11:00）から受付を開始します。

7月18日（金）「あきた まちのえき」オープニングセレモニー 参加フォーム

ご多忙の折誠に恐縮ですが、**7月14日（月）まで**にメールまたはFAXにて以下の情報をお知らせください。

貴社名	貴媒体名	ご芳名
電話番号	FAX 番号	メールアドレス
同行者の予定人数（いる場合）	写真撮影の有無	動画撮影の有無
	☐ 有り ☐ 無し	☐ 有り ☐ 無し

送付先：

FAX	018-893-5659
E-mail	program@artscenter-akita.jp

広報・お問合せ先

NPO 法人アーツセンターあきた（秋田市文化創造館内／担当：芦立）

[TEL] 018-893-5659 [E-mail] program@artscenter-akita.jp

[WEB] www.artscenter-akita.jp